

共生社会の実現をめざして

# 社会福祉法人 日本身体障害者 団体連合会

にっしんれん  
(日身連)



## 日身連の沿革

- 1958年 日本身体障害者団体連合会発足  
第1回日本身体障害者福祉大会を東京・九段会館で開催 初代会長は鈴木仙八氏
- 1959年 事務所を千代田区丸の内に移転
- 1961年 事務所を豊島区目白に移転
- 1984年 社会福祉法人認可  
事務所を新宿区西早稲田に移転
- 1987年 小規模作業所への国庫補助事業受託  
(2005年度まで)  
ジパング倶楽部特別会員制度開始
- 1990年 中央身体障害者社会参加促進センター(現中央障害者社会参加推進センター)を設置
- 1999年 身体障害者相談員全国連絡協議会設立  
事務所を豊島区目白に移転

## 日身連へのアクセス



〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-3 4階  
社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会  
電話: 03-3565-3399  
FAX: 03-3565-3349  
URL: <https://www.nissinren.or.jp>



日身連の詳細情報はこちら▶

日身連ってどんな団体？

障害があっても、地域で安心して充実した生活ができる社会をめざして活動している、身体障害者の全国団体です。障害の種別や有無にとらわれず、全国組織のネットワークを活かし、国などへの要望や政策提言など、幅広い活動を行っています。

どんなネットワークをもっているの？

加盟団体は63団体です(都道府県46団体、政令市15団体、全国団体が2団体\*)。各加盟団体はさらに市町村単位の団体で構成されており、合計すると全国で約1400もの団体組織となり、全国でも有数の規模の障害者団体といえます。

※日本オストミー協会、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会が加盟

どんな活動をしているの？



こちらのページをご覧ください! ➡

# 日身連の 主な事業



## 毎年全国の関係者が一堂に会する大会を実施しています

「日本身体障害者福祉大会」を毎年開催。障害があってもお互いに助け合いながら地域で元気に活動する会員の皆さんに支えられています。



## 国などの会議で積極的に提言をおこなっています

各府省庁が開催する会議などで、積極的に意見や提言をおこなっています。

こんな  
会議に参加  
しています

障害者政策委員会(内閣府)、労働政策審議会障害者雇用分科会(厚労省)、社会保障審議会障害者部会(厚労省)、移動等円滑化評価会議(国交省)や関係府省庁の会議に多数参加



## 誰もがくらしやすい街づくりのために、東京オリパラレガシーの継承

障害のある立場だからこそ提言できることがあります。日身連は国や関係機関などと協力し、研修・調査をはじめとしたさまざまな事業をおこなっています。



## こころのバリアフリーを広げる活動をすすめています

日身連は、障害のある方・ない方がともに障害理解や、地域共生社会について考える、さまざまなセミナーやイベントを開催しています。



## 機関紙を毎月発行。ホームページを通じた情報発信を積極的におこなっています。

機関紙を毎月発行。ホームページを通じた情報発信を積極的におこなっています。



## ジパング倶楽部の身体障害者向け割引サービスを行っています

日身連は1987年からJR東日本と協力し、ジパング倶楽部の身体障害者向け割引サービス※を行っています。JR特急券などが2~3割引でご購入いただけるサービスとして、旅行好きなシニアの皆さまから大変好評をいただいております。

※男性満60歳以上、女性満55歳以上で身体障害者手帳をお持ちの方が対象です。会員数約10,000人。

## 日身連の活動を応援してください!

これらの活動を進めていくために、皆様のご支援をお願いします。日身連へのご寄付・賛助会員のお申込みは「お問合せ先」まで。